

クリニックレター 2026年4月

〒663-8113 西宮市甲子園口 2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック
TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>
このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆様にご覧いただきたい事をビビッドに発信していきます。

煎じ薬で用いられる漢方生薬の品質と保険診療

保険診療で処方されるお薬にはすべて薬価(=国が定めるお薬の価格)があり、定期的に改定があります。煎じ薬に用いる漢方薬を「生薬」といいますが、現在、148種類の生薬に薬価が定められています。もちろん生薬の種類はその数倍ありますが、その中で保険の範囲内で使える生薬の数が148種類ということになります。

漢方生薬はそのほとんどが中国や東南アジアの国々からの輸入に頼っています。国内でもわずかながら生薬は生産されていますが生産量及び価格の点で実際の診療にはほとんど用いられていません。

現在、国内ではいくつかの業者さんが漢方生薬を輸入して販売しています。その輸入価格は、中国国内での生産量(栽培が殆どなので天候に左右されます)や人件費、それに輸送費などによって年々変化しますが、国が定める薬価はある程度一定ですので、場合によっては、薬価よりも販売価格(輸入業者さんが薬局に納める際の価格)が高くなる場合があります。その場合、医師が処方した生薬を薬局が使えば使う程、薬局側には損失が生じることになります。いわゆる“逆ザヤ”です。

これでは薬局は経営が成り立ちません。対策としては

- ① 逆ザヤになっている生薬を使わないようにする→患者さんに必要な薬が使えないので満足な診療が出来ないこととなります。
- ② 逆ザヤにならないような安価な生薬を用いる→お薬の効きめという点で疑問が生じます。

実は、今年4月の薬価改定により、いくつかの生薬が逆ザヤになることが判明しました。当院がお付き合いしている卸業者さんは非常に良心的な会社ですので、先日、サンプル品を持ってこられて今後の対応を協議しました。

例) 下の写真は、桂皮(ケ化=シナモ)：多くの漢方処方に含まれる生薬です)で、左がこれまで使われていたベトナム産ですが、今回の薬価改定で逆ザヤとなるため、右の中国産の桂皮を業者さんから提案されました。でも、やはりベトナム産のほう

が香りもよく(=揮発成分が多く含まれている)、噛んでみると味もよかったので、うん・・困ったなあ・・と頭を抱えてしまいました。生薬、まさに生きた薬を扱う漢方ならではの悩みなのですが、できるだけ患者様に品質のよい=効き目の確かな漢方薬を処方できるように、いろいろと工夫を重ねていきたいと思っています。



認知症の話題(その2)

前回は認知症の代表的な分類について説明しました。今回はそのうち、アルツハイマー型認知症(AD)とレビー小体型認知症(DLB)の治療薬剤についてお話しします。現在、臨床で用いられている薬剤は大きく分けて次の三つに分類されます。

① アセチルコリンエステラーゼ阻害薬

脳の神経伝達物質を増やすタイプのお薬で抗認知症薬としては最も早く承認されました。ドネペジル(アリセプト®)や貼布剤のリバスタチグミン(リバスタッチ®)などがよく知られています。ドネペジルはDLBに対しても適応が認められています。

② NMDA 受容体拮抗薬

神経の過剰な興奮を抑える薬でメマンチン(メマリー®)が代表薬です。しかし残念ながら①②の薬剤とも病気の本態に効く薬ではないので、その効果は限られています。

③ 抗アミロイドβ薬

上記①②に分類される薬剤は、神経細胞の間の伝達を調整することによって認知症状を軽減するものであるのに対して、アルツハイマー病の原因物質であるアミロイドβのかたまりを取り除く作用をもつのが、この抗アミロイドβ抗体薬です。

現在、レカネマブ(レケンビ®)、ドナネマブ(ケサンラ®)の二つが保険承認されており、最近の研究では、「レカネマブは早期アルツハイマー病患者の認知機能と日常生活レベルの低下を7か月半遅らせることができた」とされています。現在承認されている治療薬としては最も先進的なものではありませんが、a)2週間に1回の点滴投与が必要 b)薬価が2026年改定でやや安くなったとはいえ、年間230~300万程度(体重によって異なる)で、自己負担額も少なくない c)レカネマブを投与するためには、脳内のアミロイドβ蓄積を診断するアミロイドPET-CT検査が必要で検査費用が約20万(自己負担額はその1割~3割)と高価 c)頭痛・過敏症・脳内出血などの有害事象など、乗り越えるべき問題もあります。

次回は、認知症周辺症状(BPSD)と漢方薬についてお話しします。

R8年7月1日から65歳以上の市民の方を対象に「西宮市認知症健診」が始まります！詳細に関しましては、市から正式発表があり次第、掲示いたします

お知らせ

- 带状疱疹ワクチン(シングリックス)がアルツハイマー病の発症を抑制する！という論文が、最も権威があるといわれるイギリスの科学雑誌「ネイチャー」に掲載されました。定期接種年齢の方は、ぜひ、シングリックスの接種をお勧めします！！**
- 5月2日(土曜日)を休診とさせていただきます。



Instagram

クリニックのInstagram、QRコードはこちらです
フォローよろしくお願いします！

